

「2型糖尿病治療薬」観察研究のお知らせ

トグリフロジンの安全性および有効性の検討

今回2型糖尿病の治療薬として、SGLT2阻害薬「トグリフロジン」という新しい作用機序のお薬が開発されました。

この新しいお薬の安全性(副作用)と有効性(効き目)を調べることを目的とした研究を当院で実施しています。

当院を受診されている「2型糖尿病」の患者さんに参加をお願いしております。

【観察研究】

病気の予防・診断・治療方法の改善、患者さんの生活の質の向上などを調べるため患者さんに協力頂き検査データの提供をお願いする研究の事です。

【お薬の特徴】

SGLT2阻害薬は、余分な糖分を尿中に排出することで血糖値をコントロールするという新しい作用機序の糖尿病治療薬です。

【研究の概要】

- ①全国1,000～2,000施設10,000例の2型糖尿病患者さんが参加予定です。
- ②研究期間は2014年6月～2020年5月迄です。
- ③ご協力いただく期間は2年です。
- ④データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

【参加にあたって】

- ①今回の検査データは当院の協力により日本糖尿病協会に提出される予定です。
- ②参加を希望されない方はいつでも参加を取り消すことができます。
- ③参加いただける方の個人情報情報は完全に守られます。
- ④参加を取りやめても不利益な対応を受ける事はございません。

**ご参加いただける方、あるいはご興味のある方は
お気軽に主治医へお申し出ください。**

本研究については、日本糖尿病協会のホームページ (<https://www.nittokyo.or.jp/>) にて情報を公開しております。結果についても随時公表されます。

お問い合わせ連絡先： 三菱京都病院 075-381-2111(代表)

診療科： 糖尿病内科 研究責任者： 米田紘子

この観察研究は日本糖尿病協会と当院共同で実施しています。



公益社団法人 日本糖尿病協会
Japan Association for Diabetes Education and Care (JADEC)